

「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」に協賛 ～スマートフォンで自然災害リスクを確認し、避難時の行動を学ぶ～

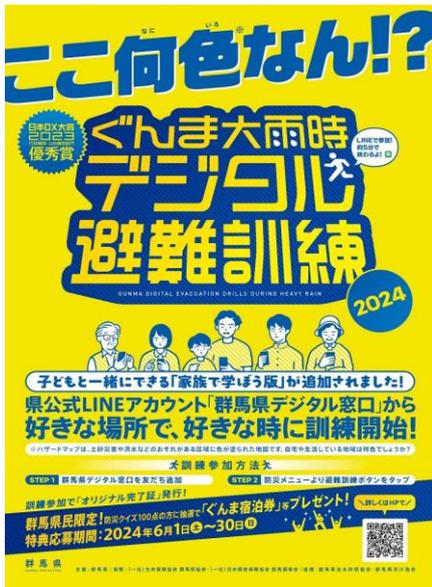
日本損害保険協会関東支部群馬損保会(会長：遠藤 英嗣 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社群馬支店長)では、ハザードマップの普及と防災意識の向上を目的とする群馬県のDXを活用した防災の取り組みに賛同し、同県が実施する「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」に今年度も協賛しました。

群馬県では、スマートフォン上で手軽に自宅や生活エリアの災害リスクや避難所の位置等を確認し、災害時に適切な避難行動を学べるよう、「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」を2022年6月1日から配信を実施しています。本コンテンツは、県公式LINEアカウント「群馬県 デジタル 窓口」を活用したものとなっており、2023年11月時点では、県民の1/3以上である約80万人が登録しています。LINEの画面上で訓練を進めると、気象情報、ハザードマップ、避難情報などのさまざまなコンテンツから情報を確認でき、訓練として使用するだけでなく、有事の際にこのコンテンツから、適切な情報を取得できることを体感することができます。

これまでに「延べ23万回」を超える利用があり、実際に、利用者アンケート結果においても、本訓練に参加したことにより、「自宅や地域の危険性が確認出来た」という回答が99%、「防災の意識が高まった」という回答が89%と有意義な訓練であることが伺えております。また、今年度から、より多くの県民に利用いただけるよう、子どもと一緒に参加できる「家族で学ぼう版」が新たに追加されています。

当損保会では、同県からの協力要請を受けて、継続的な防災意識の向上に資する取組みとして、本事業は、県との連携を含めた高い効果が期待できるものであることから協賛を行ったものです。同時に、会員会社においても同訓練に参加するとともに、ポスター掲示や関係者・お客様等にチラシを配布するなど周知に協力しています。

関東支部では、今後も行政等と連携して、自然災害リスクの啓発と事前の備えの促進に関する取り組みを行っていきます。



啓発チラシ



【ハザードマップを確認】

ハザードマップは、土砂災害や洪水などのおそれがある区域に色が塗られた地図だよ。自宅や生活している地域は色が塗られているかな？

- ハザードマップでは、群馬県の土砂災害警戒区域と洪水浸水想定区域等を重ねて表示しているよ。
- 市町村が作成しているハザードマップも確認してね。

ハザードマップを確認

市町村別に確認

色が塗られている【次へ】

色が塗られていない【次へ】

スマートフォン訓練画面(ハザードマップ)



【避難のタイミングを確認】

雨音が強くなってきたな…どこにも逃げ遅れないようにどの「警戒レベル」で避難するか家族で確認しよう。

- 警戒レベル4 避難指示
『危険な場所から全員避難』
- 警戒レベル3 高齢者等避難
『避難に時間を要する人とその支援者は避難』

自分や自分と一緒に逃げる人はどのタイミングで避難する？

警戒レベル4 避難指示【次へ】

警戒レベル3 高齢者等避難【次へ…】

スマートフォン訓練画面(警戒レベル)

■ 関連リンク：[ぐんま大雨時デジタル避難訓練](#) (群馬県ホームページ)